共同運営部門：放射線治療センター

＜スタッフ紹介＞

役　　職	スタッフ名
センター長 兼放射線科部長兼放射線センター長	中田　耕平
副センター長 兼放射線部門長兼放射線副センター長	西池　成章
放射線治療品質管理室長 兼放射線部門長代理	田原　大世
放射線治療センター担当主幹 兼医学物理室長	前田　直子

＜関連部署＞

部署名	部署名
放射線治療科	放射線部門
放射線科	看護局

＜特色と概要＞

放射線治療装置は直線加速器(リニアック)を使用して、ほとんどの悪性腫瘍や一部の良性疾患を対象に外部照射を行っている。

現在、新規患者の受け入れ(初回診察日)は月曜日から金曜日までの週5日可能となっている。初回診察にて放射線治療の適応となると、概ねその日のうちに治療計画を行い、翌日から治療開始となる。外科(乳癌・肺癌・食道癌など)からの依頼が多く、全体の約1/2を占めている。

リニアックは2011年2月にエレクタ社製Synergyを導入し、画像誘導放射線治療機能、マイクロマルチリーフや6軸カウチなどを用い、精度が高く短い時間で終わる放射線治療を実施している。また、特殊放射線治療として脳腫瘍に対する定位放射線治療や骨髄移植前の全身照射にも対応している。

放射線治療計画装置は、最新のアルゴリズムであるモンテカルロ法を搭載したエレクタ社製Monacoを使用し、高精度の治療にも対応できるようになっている。

放射線治療専門技師の資格を持った2名が中心となり、毎日の正確な治療に細心の注意を払っている。専任の医学物理士はリニアックの品質管理と線量測定、治療計画の補助などに携わり、治療が安全に精度よく行われるように管理している。

また、新型コロナウイルスに感染している患者に対し、感染防止の照射マニュアルに則り、照射を行っている。

＜使用機器＞

リニアック1台

放射線治療計画装置2台

治療計画用CT装置1台

＜実績＞

2025年度

1日平均治療患者数 11名

新規治療患者数 152名、治療部位数 167部位

原発部位別新規患者数　（名）

脳・脊髄腫瘍	8
頭頸部腫瘍	1
食道癌	14
肺・縦隔腫瘍	15
乳癌	56
胃・小腸・大腸癌	8
泌尿器系腫瘍	16
婦人科腫瘍	2
造血器・リンパ系腫瘍	19
皮膚・骨・軟部腫瘍	3
良性疾患	5

特殊放射線治療　（名）

全身照射	6

＜今年度の成果と来年度への抱負＞

非常勤医師5名の体制で毎日診察を行っているため、近隣病院の治療装置入れ替えによる休止期間中、患者受け入れが問題なく行えた。受け入れにより患者数が増加した。受け入れ期間終了後も患者数が減少しないよう、積極的に患者の受け入れを行っていきたい。

診察室の環境整備を行い、個室で患者の問診対応ができるようになり、プライバシーに配慮することができるようになった。引き続き環境整備を行っていく。

今後は、高精度治療を行うための準備や研修を行っていく。